

科目名	接遇マナー						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	安元千夏・江口美奈子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	航空地上支援サービス会社において 国際線旅客サービス業務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界を目指す上で必要な身嗜みやマナー、エアラインメイクを学ぶ。 実技を通してサービスマインドを身に付ける。						
授業形式	講義:	演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			老若男女から好まれるメイク(エアラインメイク)が出来る。	
			○			社会人として基本的なマナー(特に立ち居振る舞い)を実際に行動化出来る。	
			○			就職試験での入退室のマナーを理解し、行動化出来る。	
		○				客室乗務員、グランドスタッフの基本業務を理解し、基本動作が出来る。	
		○				丁寧で美しい言葉遣いで自己アピール出来る。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自己紹介					
	2	目標設定					
	3	挨拶の仕方・第一印象について					
	4	エアラインヘアメイクレッスン					
	5	エアラインヘアメイクレッスン					
	6	エアラインヘアメイクレッスン					
	7	エアラインヘアメイクレッスン					
	8	接客練習(挨拶の仕方)					
	9	接客練習(お辞儀の仕方)					
	10	面接の受け方(就職面接で重要視されること)					
	11	面接の受け方(入退室について)				授業内容に係る実技テストを実施するので、練習しておくこと	
	12	面接の受け方(入退室について)				授業内容に係る実技テストを実施するので、練習しておくこと	
	13	客室乗務員の業務について					
	14	グランドスタッフの業務について					
	15	自己表現の仕方					
評価方法	評価は、下記の項目にて行う。 ①面接時における入退室の実技試験を行う(授業内) (チェック項目:第一印象・身嗜み・メイク・入退室方法・所作) ②提出物 ③授業態度、意欲 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	入退室試験			○			80%
	提出物		○		○		10%
	意欲・態度				○		10%
履修上の注意	スーツで参加。髪型、メイクを美しく整えて、授業に臨むこと。						

科目名	コミュニケーション技法						
科目名(英)	communication						
単位数	2単位	時間数	15コマ	担当者	小川 果		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科・エアポート科 1年						
授業概要	コミュニケーションとは何か、よりよいコミュニケーションのために大切なことは何かを理解させる 言いたいこと、言うべきことを明確に簡潔に相手に伝えることができるようにする 言語表現力を高めることによりセルフエスティムを向上させ、新しい社会で生きていく自信をつける 社会での事業者の関心を深めさせ自分と社会を関連づけて考えることができるようにする						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					1対1での対話がきちんとできる	
	○					自らの意見、考え方、価値観を開示することができる	
		○				人の話をしっかりと聞き、考え方や価値観の多様性を理解できる	
		○				ニュースに関心をもち、社会的存在としての自分に気付くことができる	
	○				自分とは何か、自分はどういった人間か、より深く考えることができる		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	社会とは何か — 社会とは? 家庭とは? クラスとは?					
	2	何を学ぶのか — 何を手に入れたいか? コスト意識を持つ					
	3	コミュニケーション(1) — マナー、返事、1対1で話す					
	4	コミュニケーション(2) — 聞く、質問する					
	5	コミュニケーション(3) — 相手の話を要約する					
	6	コミュニケーション(4) — 実践報告					
	7	スピーチ(1) — 「物」を媒介にして自分を伝える					
	8	スピーチ(1) — 続き					
	9	スピーチ(2) — 「言葉」を媒介にして自分を伝える					
	10	スピーチ(2) — 続き					
	11	スピーチ(3) — 「ニュース」を媒介にして自分を伝える					
	12	スピーチ(3) — 続き					
	13	自己分析 — あなたはどんな人ですか?					
	14	グループディスカッション — テーマ未定					
15	再び社会とは何か — 社会人となるため留意ポイント						
評価方法	成績は下記の観点・割合で評価する(テストなし) ①出席点 30% ②平常点 30% (授業態度・参加の度合い、発表に対する積極性他) ③技能点 40% (各課題について10点満点で評価) 成績評価基準は S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品	○	○		○		
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は評価なし。						

科目名	接客サービスマナー						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	村上 舞		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	航空会社において客室 乗務員職として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	接客サービスマナー検定2級の取得 ビジネスマナーの基本を身につけ、就職活動に生かす サービススタッフとしての心構えを理解する						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:	○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○						
		○					
テキスト・教材 参考図書	接客サービスマナー検定 過去問題集、実践ビジネスマナー 課題プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	検定概要、オリエンテーション					
	2	会社組織の仕組み					
	3	言葉遣い					
	4	言葉遣い					
	5	言葉遣い				小テスト実施。対策しておくこと。	
	6	来客応対					
	7	電話応対					
	8	シチュエーション問題				小テスト実施。対策しておくこと。	
	9	手紙送付のマナー					
	10	慶弔時のマナー					
	11	贈答時のマナー					
	12	一般常識問題(サービス関連)①					
	13	一般常識問題(サービス関連)②				小テスト実施。対策しておくこと。	
	14	模擬試験①					
	15	模擬試験②					
	16	模擬試験③					
	17	模擬試験④					
	18	模擬試験⑤					
	19	模擬試験⑥					
	20	模擬試験⑦					
	21	模擬試験⑧					
	22	模擬試験⑨					
	23	定期試験対策					
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	◎				30%
	宿題・レポート		◎		◎		20%
発表・作品							
履修上の注意	課題プリントがある場合は必ず解いておくこと。 出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	航空概論						
科目名(英)	General Study for Airline Business						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	和田 菜穂		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	航空会社において客室 乗務員職として勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	この授業では、昨今の航空業界の国際グローバル化に伴い現場で必要となる航空基礎知識を習得し、将来業界で活躍できる人材(人財)を育成する。また空港インターンシップとの連動することで実践の場を設け、具体的なスキルを身に付けていく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空関連業務の内容を学び、業界の概要を説明することができる。	
		○				航空業界で働くために必要な専門知識を習得し、実習や業界就職で活かすことができる。	
		○				業界で使用されるdocumentの基本となる時刻表が読めるようになる。	
				○		将来従事する職種を理解し、必要な知識だけでなく技能や心構えを持つことができる。	
テキスト・教材 参考図書	航空業界ガイドブック2019、サブノート、その他配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	導入(地理解)、航空系の仕事について					
	2	空港の種類、2レター、主要空港コード、国際関係組織			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	3	アライアンス、スポット配置、業界用語			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	4	CIQ～税関の詳細			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5	免税範囲、関税法			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	6	CIQ～出入国審査の詳細			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	7	旅券、査証			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	8	CIQ～検疫、WHO指定感染症			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9	航空危険物			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	10	マニフェスト理解① AWB、DG			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	11	マニフェスト理解② GD			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	12	ケータリング(SPML、宗教理解)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	13	フォネテックアルファベット、航空無線			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	14	OAG			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	15	航空業界の目指す安全、学期総括					
評価方法	(1)授業の中で確認テストを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	◎		◎		30%
	宿題・レポート	○	◎		◎		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ペン字						
科目名(英)	Penmanship						
単位数	2単位	時間数	15時間	担当者	入江陽子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 航空業界ビジネスマンとして、日常生活における硬筆書写の一般の知識・理解を深め、業務遂行時に、実践出来る基礎力を習得する。 正しいペンの持ち方・姿勢を守り、書写することにより集中力を付ける。 						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				目標		
			○		正しい言語づかいで、自分の履歴書を書くことができる。		
			○		書式に従って、美しい文字で書写することができる。		
			○		正しいペンの持ち方・姿勢で書写することができる。		
			○		集中力を持って取り組むことができる。		
			○		難しい筆ペンの練習も、意欲を持って取り組むことができる。		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ペン字基本	一 氏名練習、履歴書書式		ボールペンの練習をしておくこと。		
	2	"	一 基本点画		氏名の練習を復習しておくこと		
	3	"	一 基本点画、筆順		基本点画の復習をしておくこと		
	4	"	一 字形の整え方、字形24体		筆順を復習しておくこと。		
	5	"	一 " へんわり。		字形の整え方を復習しておくこと		
	6	"	一 平仮名の字源、片仮名		平仮名の復習をしておくこと		
	7	履歴書	一 履歴書を体裁よく書くコツ		履歴書の必要事項を調べておくこと		
	8	"	一 履歴書ペン書き練習		履歴書下書きを仕上げておくこと		
	9	"	一 横書きを美しく書く為のコツ、清書		履歴書ペン書きをしておくこと		
	10	実用書	一 筆ペンの用筆、基本点画		履歴書清書提出できるようにしておくこと		
	11	"	一 セツ短冊、芳名帳		基本点画復習しておくこと。		
	12	"	一 のし書きの書式		氏名の練習をしておくこと		
	13	"	一 はがき(暑見舞) 封筒の書式		筆ペンに書きなれておくこと		
	14	就活にむけて	一 求職票の書式		自己紹介文を考えておくこと		
15	"	一 エントリーシートの書き方		苦手な文を考えておくこと。			
評価方法	(1) 授業の中で清書した履歴書を試験のかわりとして評価する。 (2) 出席を意欲点として評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
	履歴書 出席	○		◎		◎	80% 20%
履修上の注意							

科目名	日本語表現法						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	「言葉」と一言でいっても、話す言葉や書く言葉、聞く言葉、さらにはパソコンやスマートフォンで入力する言葉など、様々な種類の言葉が存在する。各場面に応じた言葉の遣い方やマナーがあり、言葉はその人の人格や品位までもを表すといわれている。その為、語彙力を鍛え、日本語を正しく理解して状況に応じて遣い分ける力が必要となる。この授業では、空港インターンシップや就職活動での言葉遣いを意識しながら、正しい日本語の表現方法を学んでいく。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					一般常識問題として頻出の漢字や熟語、ことわざ、慣用句を覚え、意味を説明できる。	
		○				話し言葉と書き言葉の違いを理解し、文章を正しく訂正することができる。	
			○			正しい敬語の遣い方を覚え、文章作成時に応用できる。	
				○		自身の考えを深めるための7つのサイクルを習得し、自己分析に活用することができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:日本経済新聞出版社「言葉にできるは武器になる」、SBクリエイティブ「大人の語彙力ノート」、角川新書「語彙力こそが教養である」、宝島社「語彙力練習帳」、日本実業出版社「文章力の基本の基本」						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス配布、授業概要の説明、確認テストについての説明				特になし。	
	2	確認テスト①、「言葉」の大切さを知る				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。	
	3	確認テスト②、ポジティブな表現への言い換え				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。	
	4	確認テスト③、人生に影響を与えた言葉①グループワーク				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。	
	5	確認テスト④、人生に影響を与えた言葉②クラス代表者発表				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。	
	6	確認テスト⑤、話し言葉と書き言葉の違い				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。	
	7	確認テスト⑥、敬語の遣い方				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。	
	8	確認テスト⑦、ビジネス敬語の遣い方				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。	
	9	確認テスト⑧、間違いやすい日本語表現①慣用句・ことわざ				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。	
	10	確認テスト⑨、間違いやすい日本語表現②敬語・言い回し				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。	
	11	確認テスト⑩、「思考を深める7つのサイクル」①基礎を知る				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。	
	12	確認テスト⑪、「思考を深める7つのサイクル」②自己分析に活用				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。	
	13	確認テスト⑫、ことわざ・名言を用いた自己分析				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。	
	14	確認テスト⑬、好印象をもたれる言葉の選び方				確認テストの事前勉強、課題に取り組むこと。	
	15	前期まとめ、日本語表現・一般常識クイズ大会				授業で学んだ範囲を復習しておくこと。	
評価方法	(1)授業の中で小テストを13回実施する。80%正解で合格とし、不合格者には再テストを実施する。 前期末に得点の総合ランキングを発表し、表彰をする。 (2)宿題・レポートを数回実施する。 (3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎			○		45%
	授業内での発表				◎		5%
履修上の注意	・空港実習等で確認テストを受験できない人は、必ず事前に申し出ること。 別対応(朝、もしくは放課後の時間帯)で実施をする。						

科目名	SPI I A						
科目名(英)	Preparation for Synthetic Personality Inventory I A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	合力、瀧口、安元、村上、宮崎		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	航空業界への就職試験では、多くの企業でテストセンターやWEBテスト、ペーパーテスト等の適性検査が実施されている。その際、制限時間内に正確な解答を導き出す力が必要である。この授業では、SPI非言語分野の頻出テーマをとりあげ、その解き方を学ぶ。また、近年多く実施されているWEBテストでの四則逆算問題対策として、この授業では四則演算を正確かつ迅速にできるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					SPI非言語分野頻出テーマの基本的な解き方を学び、覚える。	
		○				各問題に対する基本的な解き方を覚えた上で、応用問題にも活用できる。	
		○				四則演算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。	
				○		SPI非言語分野頻出テーマの基本的な解き方を他者に対して説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	教材:オリジナルプリント 参考図書:新星出版「本気で内定! SPIテストセンター1200題」、ナツメ社「史上最強SPI&テストセンター超実戦問題集」 学研教育出版「SPI3をひとつひとつわかりやすく」、羊泉社「これが本当のSPI3だ!」						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1回レベルチェック(クラス分け)テスト			後期使用テキストで、SPIの主な問題範囲を確認しておくこと。		
	2	速さ(基本公式の確認・速さの変換)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	3	速さ(往復の速さ・応用問題)、旅人算(基本公式の確認)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	4	旅人算(出会い算・追いかかけ算応用問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	5	場合の数			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	6	確率			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	7	前半範囲のまとめ			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	8	第2回レベルチェック(クラス分け)テスト			速さ~確率の範囲まででテストを実施する為、復習をしておくこと。		
	9	集合			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	10	仕事算			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	11	代金精算・割引料金			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	12	損益算			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	13	推論(正誤判断・順番推理)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	14	推論(内訳推理・密度/濃度)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
15	前期範囲のまとめ			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。			
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)宿題を課す。(3)中間テストとして、第2回レベルチェックテストを実施する。 (4)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間テスト (第2回レベルチェックテスト)	◎	◎				10%
	小テスト	◎	◎				20%
	宿題・レポート	○	○		◎		10%
	発表・作品				◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	一般教養 I A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				漢字検定準2級程度の漢字までは読み書きが出来る	
		○				計算問題を中心に正確に解答することが出来る	
	○	○				英検準2級程度の問題に解答することが出来る	
		○				地理や政治における基礎的な内容を理解し説明が出来る	
テキスト・教材 参考図書	専門学校生のための一般常識トレーニング ミニテスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	科目概要説明(シラバス)				次回学習部分に目を通しておくこと	
	2	ROUND1: 漢字の知識、英語(動詞の活用変化)、主な国際機関について、時事用語				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	3	ROUND2: 社会(環境問題、選挙について、国内政治について、宗教)、漢字の知識				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	4	第1回実力テスト ROUND2: 英語(英文書き換え)、敬語表現、文学史				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	5	ROUND3: 英語(単語の知識)、社会(憲法に関して、思想)、国語(漢字の知識、四字熟語)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	6	ROUND4: 社会(歴史、国際連合について)、文学史				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	7	ROUND4: 社会(歴史、地理)、計算問題(分数) ROUND5: 国語(漢字の知識)、時事問題				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	8	ROUND5: 社会(世界の発明家について)、英語(動詞の活用変化、時制、仮定法) ROUND6: 主な国際機関、英語(空所補充)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	9	ROUND7: 国語(四字熟語)、社会(各国の歴史と現在の状況、名言・名句) ROUND8: 国語(ことわざ)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	10	ROUND8: 社会(天皇の国事行為について、内閣について、歴史)、英語(単語の知識) ROUND9: 英語(熟語の知識)、時事用語、数学(損益算)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	11	ROUND9: 社会(歴史、国内経済)、数学(指数、割合)、英語(空所補充)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	12	第2回実力テスト ROUND10: 英語(単語の知識)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	13	ROUND10: 社会(経済)、数学($\sqrt{\quad}$ の計算)、国語(漢字の知識)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	14	ROUND10: 社会(各国の歴史と現在の状況)、英語(空所補充)、時事問題				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
15	ROUND1~10のまとめ				試験範囲の部分の復習をしておくこと		
評価方法	(1)定期試験 (2)宿題や課題 (3)授業中の態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎		○		80%
	小テスト	◎	◎		○		10%
	宿題・レポート	○	○		◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名 Subject Name	English Conversation I						
科目名(英) Same as Above	English Conversation I						
単位数 Credits	2	時間数 Hours	30	担当者 Instructor	Andy Highcock, Mark Wisniewski, Scott Newby		
実施年度 Year	2019	実施時期 Semester	前期	実務家教員 担当科目 Instructor with Career in Subject Area			
対象学科・学年 Class	Airline 1						
授業概要 Subject Description	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills						
授業形式 Class Format	講義: Lecture	△	演習: Practice	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標 Targets	
	○					Raise students' English proficiency	
	○					Give students more confidence in using English	
	○					Workplace related English skills	
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References	Speakout Elementary Book1						
授業計画 Class Schedules and Contents	回数	授業項目・内容 Topics and Contents				授業外学修指示 Preparation and Review	
	1	Get to know your teacher				none	
	2	1.1 Nice to meet you				Preview lesson materials and review previous lesson	
	3	1.2 Travel Light				Preview lesson materials and review previous lesson	
	4	1.3 Can I Have a Coffee?				Preview lesson materials and review previous lesson	
	5	Teacher's Lseeon or 1.4 Fawltly Towers (needs TV/DVD)				Preview lesson materials and review previous lesson	
	6	1.5 Lookback /teacher's lesson				Preview lesson materials and review previous lesson	
	7	2.1 Join Us				Preview lesson materials and review previous lesson	
	8	2.2 High Flyers				Preview lesson materials and review previous lesson	
	9	2.3 What Time Does It Start?				Preview lesson materials and review previous lesson	
	10	Teacher's Lesson or 2.4 Chalet Girl (needs TV / DVD)				Preview lesson materials and review previous lesson	
	11	2.5 Lookback / Teacher's lesson				Preview lesson materials and review previous lesson	
	12	3.1 Just Good Friends				Preview lesson materials and review previous lesson	
	13	3.2 Big Happy Families				Preview lesson materials and review previous lesson	
	14	Review and Practice for Speaking Test				Preview lesson materials and review previous lesson	
	15	Speaking Test				Review previous lesson material	
評価方法 Assessment Method	Students evaluation: (1) Test - 50% (2) Class participation - 25% (3) Attendance - 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報 Language Info.	知的技能 Intellectual Skills	運動技能 Physical Skills	態度・意欲 Attitude/Ea gerness	その他 Other	評価割合 Percentage of Assessment
	定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
	小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%
	宿題・レポート Assignment/Report 発表・作品 Presentation/Works						
履修上の注意 Remarks	Students will not receive a grade if they miss more than 5 classes.						

科目名	Word 演習						
科目名(英)	Word						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	山田 智子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	パソコンの基本になるマウスの正しい操作方法や文字の入力を学習する。入力に関しては、タッチタイピング(キーボードを見ないで文字入力)をすることが実務で必要になるので、タイプクイックソフトを使いマスターする。また、文字入力は後期に学習する航空券の発券業務に必要なとなるので、ヘボン式のローマ字入力を正確に学ぶ。テキスト「30時間でマスター Word2016」を使って一般的なビジネス文書(社内文書・社外文書)や表の作成方法を学習する。ビジネス文書作成上のマナーを学習する。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				マウス(パソコンの基本操作)を正しく操作できる。	
			○	○		キーボードを見ないで文字入力ができる。	
		○	○			ヘボン式ローマ字で文字入力ができる。	
	○					ビジネス文書の社外文書と社内文書の違いを説明することができる。	
	○	○			ビジネス文書作成に必要な文字入力や編集機能を効率的に操作できる。		
テキスト・教材 参考図書	タイプクイック 30時間でマスター Word2016						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要の説明とパソコンの基本操作					
	2	タイプクイックの設定と操作			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	3	タイプクイック・Word2016の基本操作			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	4	タイプクイック・Word_ローマ字入力			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	5	タイプクイック・Word_いろいろな文字入力			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	6	タイプクイック・Word_効率的な文字の訂正			毎日15~20分タイプクイックの練習をする。		
	7	Word_文章入力・入力練習問題・タイプクイック成績提出			テキスト記載の実習問題6~17を完成させる		
	8	文字編集機能・入力速度テスト			テキスト記載の実習問題6~17を完成させる		
	9	文書作成_社内文書の作成・社内文書の特徴について			テキスト記載の実習問題18を完成させる		
	10	文書作成_社外文書の作成と作表・社外文書の特徴について			テキスト記載の実習問題19を完成させる		
	11	文書作成_画像・テキストボックスの挿入・文書作成練習問題			テキスト記載の実習問題20~22を完成させる		
	12	文書作成小テスト・作表機能の学習					
	13	オブジェクトを含んだ文書作成_画像の挿入と編集・ワードアート			テキスト記載の実習問題24を完成させる		
	14	オブジェクトを含んだ文書作成_図形描画			テキスト記載の実習問題25,27を完成させる		
15	期末実技試験						
評価方法	(1)タイプクイックの成績提出とタッチタイプの習得。(2)授業内容が把握状況を確かめる小テスト(入力・文書作成)を2回実施する。(3)テキスト「30時間でマスター Word2016」内の入力練習文・ビジネス文書作成の練習問題を仕上げる。(課題の一部は印刷して提出するが、最終的には最終授業終了時にメモリ提出)(4)文書作成の実技問題を期末試験とする。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験実技	○	◎	◎			50%
	タイプクイックとタッチメソッド			◎	◎		10%
	小テスト	○	○	◎			20%
(3)課題提出		○	◎	◎		20%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、評価はDとする。 タッチメソッドは継続したトレーニングによって習得できる物なので、毎日15~20分程度の自主トレーニングが必要である。						

科目名	実用英語 I A				
科目名(英)	Practical English I A				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	玉川 久美子
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	エアライン科1年				
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英検、TOEICの高資格取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○				
	○				
目標	文法、語法、語彙を学び、文章中の情報をもとに構文を理解することができる。 英語を聴くことに慣れ、意味を聞き取り、特定状況の中で使われるフレーズを学んでいく。 ビジネスの背景知識を身につけるためにも日頃から新聞、ニュースに触れることで、知識や一般常識を活用できるようにする。				
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 実用英語2級問題集、英語検定協会 過去問題 ・国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC公式問題集				
授業計画	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	動機付けー英語レベル分けテスト	学んだ問題の見直しをすること。		
	2	動機付けー英検2級能力判別テスト	学んだ問題の見直しをすること。		
	3	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	4	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	5	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	6	解法ポイントの理解ーリスニング、英作文	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	7	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	8	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	9	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	10	解法ポイントの理解ーリスニング、英作文	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	11	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	12	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	13	解法ポイントの理解ーリスニング、語彙・文法、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。		
	14	総合模試対策ーリスニング、語彙・文法、長文読解、英作文	学んだ問題の見直しをすること		
	15	総合模試対策ーリスニング、語彙・文法、長文読解、英作文	学んだ問題の見直しをすること		
	16	総合模試対策ーリスニング、語彙・文法、長文読解、英作文	学んだ問題の見直しをすること		
	17	総合模試対策ーリスニング、語彙・文法、長文読解、英作文	学んだ問題の見直しをすること		
	18	まとめ&質疑応答	学んだ問題の見直しをすること		
	19	TOEIC動機付けー文章中の情報をもとに構文ポイントを理解	学んだ問題の見直しをすること		
	20	構文の理解ー主述の一致、格、時制、態、リスニング	学んだ問題の見直しをすること		
	21	構文の理解ー前置詞、接続詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること		
	22	構文の理解ー準動詞(動詞を他の品詞に変えたもの)	学んだ問題の見直しをすること		
23	構文の理解ー不定詞、動名詞、分詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること			

	24	構文の理解—不定詞、動名詞、分詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	25	構文の理解—慣用表現、形容詞、副詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	26	構文の理解—慣用表現、形容詞、副詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	27	構文の理解—語法、構文、比較、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	28	構文の理解—関係詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	29	情報を関連づけての読み取り—リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	30	情報を関連づけての読み取り—リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	31	情報を関連づけての読み取り—リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	32	情報を見つけて意味を理解—リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	33	情報を見つけて意味を理解—リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	34	同義語を理解して言い換え表現ができること	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	35	同義語を理解して言い換え表現ができること	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	36	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	37	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	38	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	39	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	40	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	41	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	42	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	43	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	44	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。				
	45	まとめ&質疑応答	確認テスト実施、事前の勉強をしておくこと。				
評価方法	(1)授業の中で語彙テストを実施する。(2)課題を与える。(3)中間テストを実施する。(4)期末試験(筆記)を実施する。以上の観点、割合から総合評価する。 成績評価基準は内規に準ずる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	語彙テスト	○					
	中間テスト	○	○				
	期末試験	○	○				
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	実用英語 I A						
科目名(英)	Practical English I A						
単位数	6	時間数	90時間	担当者	山下満里		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	エアライン業界に必要となる英語力の基礎を作る。具体的な方法として、まずは英検、そしてTOEICを受験する準備講座。語彙力をつけるため毎回の単語のテストを行う。基本の文法を習得し読解力をつける。英検のWriting問題を解き自分の意見を2つの理由とともに英語で書く。2次対策としての音読、発音、質問に答えるSpeaking力を鍛える。TOEIC対策としては語彙の増強、パートごとの対策。TOEICの英語をビジネスの現場で使える単語とする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				○		
	○						
	○	○					
	○				○		
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英検過去問 ・ 桐原書店 TOEIC L&Rテスト書き込みドリル[全パート入門編] 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベルチェックテスト			毎回単語小テスト		
	2	英検過去問 日曜日 2018-3			毎回単語小テスト		
	3	英検過去問 日曜日 2018-3			毎回単語小テスト		
	4	英検過去問 日曜日 2018-3			毎回単語小テスト		
	5	英検過去問 日曜日 2018-3			毎回単語小テスト		
	6	英検過去問 日曜日 2018-2			毎回単語小テスト		
	7	英検過去問 日曜日 2018-2			毎回単語小テスト		
	8	英検過去問 日曜日 2018-2			毎回単語小テスト		
	9	英検過去問 日曜日 2018-2			毎回単語小テスト		
	10	英検過去問 日曜日 2018-1			毎回単語小テスト		
	11	英検過去問 日曜日 2018-1			毎回単語小テスト		
	12	英検過去問 日曜日 2018-1			毎回単語小テスト		
	13	英検過去問 日曜日 2018-1			毎回単語小テスト		
	14	英検過去問 土曜日 2018-3 Listening			毎回単語小テスト		
	15	英検過去問 土曜日 2018-3 Reading			毎回単語小テスト		
	16	英検過去問 土曜日 2018-2 Listening			毎回単語小テスト		
	17	英検過去問 土曜日 2018-2 Reading			毎回単語小テスト		
	18	英検過去問 土曜日 2018-1 Listening			毎回単語小テスト		
	19	英検過去問 土曜日 2018-1 Reading			毎回単語小テスト		
	20	英検2次対策			毎回単語小テスト		
	21	英検2次対策			毎回単語小テスト		
	22	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語小テスト		
	23	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語小テスト		
	24	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語小テスト		
	25	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語小テスト		
	26	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語小テスト		
	27	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語小テスト		
	28	TOEIC Listening Part 2	Reading Part 6	Part 7	毎回単語小テスト		
	29	TOEIC Listening Part 2	Reading Part 6	Part 7	毎回単語小テスト		
	30	TOEIC Listening Part 2	Reading Part 6	Part 7	毎回単語小テスト		
	31	TOEIC Listening Part 2	Reading Part 6	Part 7	毎回単語小テスト		
	32	TOEIC Listening Part 3	Reading Part 5		毎回単語小テスト		
	33	TOEIC Listening Part 3	Reading Part 6		毎回単語小テスト		
	34	TOEIC Listening Part 3	Reading Part 7		毎回単語小テスト		
	35	TOEIC Listening Part 3	Reading Part 5		毎回単語小テスト		
	36	TOEIC Listening Part 3	Reading Part 6		毎回単語小テスト		
	37	TOEIC Listening Part 4	Reading Part 7		毎回単語小テスト		
	38	TOEIC Listening Part 4	Reading Part 7		毎回単語小テスト		
	39	TOEIC Listening Part 4	Reading Part 7		毎回単語小テスト		
	40	TOEIC Listening Part 4	Reading Part 7		毎回単語小テスト		
	41	TOEIC Listening Part 4	Reading Part 7		毎回単語小テスト		
	42	TOEIC BOOK 4 Test 1 Listening			毎回単語小テスト		
	43	TOEIC BOOK 4 Test 1 Reading			毎回単語小テスト		
	44	TOEIC BOOK 4 Test 2 Listening			毎回単語小テスト		
45	TOEIC BOOK 4 Test 2 Reading			毎回単語小テスト			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				45%
	小テストや授業態度	◎	○		○		5%
履修上の注意	前期の欠席回数が15回までは、前期期末試験を受験できる。						

科目名	実用英語 I A				
科目名(英)					
単位数	6	時間数	90	担当者	秋本 佐代子
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	エアライン科 1年				
授業概要	TOEICスコア600をめざす。文法と語彙の知識を増やし、長文読解では大意を掴む練習と共に、頻出の書式パターンも理解していく。またリスニングでは音読も取り入れ、自然な日常会話にも対応できる力をつけていく。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○				
	○				
	○				
	○				
学習目標 (到達目標)	目標				
	下に記した文法事項について説明ができる。				
	ビジネスに関連した単語の意味を説明できる。				
	まとまった長文の概要を説明できる。				
	ビジネスに関連した内容の英文の概要を聞き取り説明することができる。				
	まとまった長文を聞き取り、内容を理解し、それに対する対応を選ぶことができる。				
テキスト・教材 参考図書	TOEIC TEST新形式精選模試リーディング・リスニング、Basic Reading Strategies for TOEIC Test TOEIC TEST Byond 990、TOEIC TEST英文法 出るところだけ、TOEIC TEST公式問題集3				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	レベルチェックテスト			間違った問題をやり直す
	2	文法(数の一致)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	3	語彙 1(Electronic Communication)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	4	長文読解(広告)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	5	リスニング(Part 1)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	6	語彙 2(Personnel)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	7	リスニング(Part 1)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	8	語彙 3(Employment)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	9	リスニング(Part 2)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	10	文法(仮定法)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	11	語彙 4(Presentation & Conferences)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	12	リスニング(Part 3)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	13	音読筆者の練習			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	14	長文読解(チャット)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	15	語彙 5(Sales)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	16	リスニング(Part 3)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	17	文法(関係詞)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	18	語彙 6(Advertising & Marketing)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	19	リスニング(Part 4)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	20	語彙 7(Production)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	21	長文読解(レター)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	22	語彙 8(Real Estate)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	23	リスニング(Part 4)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	24	文法(分詞構文)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	25	語彙 9(Accounting)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し
	26	リスニング(Part 4)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し

	27	長文読解(記事)	単語リストを覚える 間違った問題のやり直し				
	28	語彙 10(Investment)	単語リストを覚える 間違った問題のやり直し				
	29	リスニング(Part 4)	復習テストに向けた勉強				
	30	復習テスト	間違った問題をやり直す				
	31	リスニング(Part 3 図表) / リーディング(Part 7 Double passage)	間違った問題をやり直す				
	32	リスニング(Part 3 図表) / リーディング(Part 7 Double passage)	間違った問題をやり直す				
	33	リスニング(Part 4 図表) / リーディング(Part 7 Triple passage)	間違った問題をやり直す				
	34	リスニング(Part 4 図表) / リーディング(Part 7 Triple passage)	間違った問題をやり直す				
	35	TOEIC模試① Part 1 / 2 / 7 (Single)	間違った問題をやり直す				
	36	TOEIC模試① Part 3 / 7 (Double)	間違った問題をやり直す				
	37	TOEIC模試① Part 4 / 5 / 6	間違った問題をやり直す				
	38	TOEIC模試② Part 1 / 2 / 7 (Single)	間違った問題をやり直す				
	39	TOEIC模試② Part 3 / 7 (Double)	間違った問題をやり直す				
	40	TOEIC模試② Part 4 / 5 / 6	間違った問題をやり直す				
	41	TOEIC模試③ リーディング100問	間違った問題をやり直す				
	42	TOEIC模試③ リスニング100問	復習テストに向けた勉強				
	43	復習テスト	間違った問題をやり直す				
	44	TOEIC模試④ リーディング100問	間違った問題をやり直す				
	45	TOEIC模試④ リスニング100問	正試験に向けた復習				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				45%
	小テストや授業態度	◎	○		○		5%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I A						
科目名(英)	Practical English I A						
単位数	6	時間数	90時間	担当者	中山久豪		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界そしてサービス業全般で必要とされている英語力の向上のため、英検三級を通し、英語の基礎の力を伸ばす。 実用英語検定三級とTOEIC300点以上取得を目標とする。 日常英会話に留まらず、より高いレベルの英語力を持つ人材の育成を目標とする。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○	その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	目標		
	○				英文法、基本構文の理解、語彙、リスニング力の向上。		
	○				英検3級の合格を目標。		
	○				ホテル、航空業界の実務に必要とされる英語力の習得。		
テキスト・教材 参考図書	英検三級予想問題ドリル、プリント、くもんの中学英語基礎固め100%。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベル分けテスト					
	2	英語能力確認テスト					
	3	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	4	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	5	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	6	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	7	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	8	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	9	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	10	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	11	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	12	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	13	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	14	模擬試験					
	15	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	16	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	17	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	18	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	19	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	20	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	21	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	22	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	23	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	24	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	25	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	26	確認テスト					
	27	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	28	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	29	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	30	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	31	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	32	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	33	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	34	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	35	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	36	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	37	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	38	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	39	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	40	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	41	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	42	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	43	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	44	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
45	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)						
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				45%
	小テストや授業態度	◎	○		○		5%
履修上の注意	辞書の持参。						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	日高 郁子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	英語の基礎的な文法をしっかりと復習し、英検やTOEICなどの資格試験合格に結び付ける。 簡単な日常会話ができるよう実践的な英語学習を行う。 ※レベルを見ながら進めるためシラバス通りにいかない場合があります。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					英語の基礎文法をしっかりと理解し、それを使いこなせるようにする。	
	○					英作文が書けるよう指導し英検対策へつなげる。	
	○					基礎的な英会話ができるようにする。	
テキスト・教材 参考図書	※First Primer (Revised Edition) Nan'un-do ※TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ 朝日新聞出版						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベルチェックテスト					
	2	クラスルームイングリッシュ 自己紹介 英語と日本語の違い、be動詞とは？			単語テスト1		
	3	代名詞 一般動詞 肯定文 否定文 疑問文			単語テスト2		
	4	一般動詞② 三人称単数 肯定文 否定文 疑問文			単語テスト3		
	5	進行形			単語テスト4		
	6	過去形			単語テスト5		
	7	助動詞			単語テスト6		
	8	名詞・冠詞			単語テスト7		
	9	前置詞			単語テスト8		
	10	形容詞・副詞			単語テスト9		
	11	比較級・最上級			単語テスト10		
	12	命令文・感嘆文			単語テスト11		
	13	接続詞①			単語テスト12		
	14	不定詞・動名詞			単語テスト13		
15	前期の総復習						
評価方法	(1)授業の中で毎回単語テストを実施します。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					50%
	平常点	◎					50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	GCB I					
科目名(英)	Global Citizen Basic I					
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	宮崎・平田・江口	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーションなど、社会で生き抜くうえでの“人間力”の根本は、自分の環境における感謝の気持ちにある。日常生活の中で「与えられることが普通」と思ってしまう“他者依存”から脱却し、周囲との協働を保ちつつ使命感を持って行動できる自立心を目指す。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
				○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。
テキスト・教材 参考図書	・グローバルシティズンベーシック I 感謝心と思いやりの教育(学生用テキスト)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンを目指そう			振り返りレポートの作成	
	2	「協働」の態度を持った学生生活			振り返りレポートの作成	
	3	よりより人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～			振り返りレポートの作成	
	4	マナーの本質 I			振り返りレポートの作成	
	5	マナーの本質 II			振り返りレポートの作成	
	6	グローバルシティズンとしての日常			振り返りレポートの作成	
	7	グローバルシティズンとしての目標			振り返りレポートの作成	
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて			振り返りレポートの作成	
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	レポート作成・発表				◎	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。					

科目名	実用英語 I A						
科目名(英)							
単位数	6	時間数	90時間	担当者	江口 美奈子		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	国際化が進み、高い英語力が求められる。この授業では、英検2級、TOEIC450点取得を目標とし、解法のポイントをお伝えしながら、目標達成に臨む。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				英検2級取得に必要な文法を理解する		
	○				英検2級取得に必要な単語を習得する		
	○				TOEIC450点取得に必要な解法のポイントを理解する		
	○				TOEIC450点取得に必要な単語を理解する		
○				英検2級・TOEIC450点練習問題正答率80%以上取得できる			
テキスト・教材 参考図書	プリント・辞書						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベルチェックテスト					
	2	レベルチェックテスト					
	3	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	4	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	6	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	7	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	8	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	10	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	11	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	12	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	13	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	14	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	15	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	16	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	17	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	18	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	19	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	20	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	21	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	22	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	23	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	24	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	25	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	26	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	27	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	28	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	29	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	30	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	31	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	32	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	33	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	34	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	35	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	36	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	37	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	38	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	39	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	40	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	41	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	42	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	43	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	44	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
45	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
評価方法	1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				45%
小テストや授業態度	◎	○		○		5%	
履修上の注意							

科目名	実用英語 I A					
科目名(英)	Practical English I A					
単位数	6	時間数	90時間	担当者	安元 千夏	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	国際化が進む中、航空業界をはじめサービス業界全般で英語能力が求められているため、基礎力の向上を目指す。英語運用能力を測る代表的な資格として、実用英語検定準2級の取得を目標とする。またTOEIC400点以上取得を目指し、分野別問題解法ポイントの習得対策を実施していく。日常英会話に留まらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの英語力を持つ人材の育成を目標とする。					
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				英文法を理解し語彙力を高めることで、英検準2級レベルの読解力を身に付ける。
	○	○				会話文・アナウンスの聞き取りを強化し、英検準2級レベルのリスニング力を身に付ける。
	○	○				基本構文を用いた文章作成能力を高め、英検準2級レベルの英作文力を身に付ける。
	○	○				ビジネス英語の基本語彙を身に付け、TOEIC400点レベルの読解力を身に付ける。
○	○				TOEICリスニングの解法を学び、TOEIC400点レベルのリスニング力を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・英検準2級7日間達成予想問題ドリル ・TOEIC全パート入門書き込みドリル 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	クラス分けテスト①(英検準2級、2級混合テスト)			無し	
	2	クラス分けテスト②(英検2級テスト)			無し	
	3	語彙問題 基礎、リスニング			授業の復習と次回授業の予習	
	4	語彙問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	5	語彙問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	6	語彙問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	7	語彙問題 基礎、リスニング、語彙テスト、英作文対策			授業の復習と次回授業の予習	
	8	長文問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	9	長文問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	10	長文問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	11	長文問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	12	長文問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	13	英検実践問題、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	14	英検実践問題、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	15	英検実践問題、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	16	英検実践問題、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	17	英検実践問題、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	18	模試①(リスニング)			模試の復習	
	19	模試②(リーディング)			模試の復習	
	20	TOEIC part5基礎、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	21	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
	22	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
	23	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
	24	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
25	TOEIC part6基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習		

26	TOEIC part6基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策	授業の復習と次回授業の予習					
27	TOEIC part6基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策	授業の復習と次回授業の予習					
28	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
29	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
30	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
31	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
32	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
33	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
34	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
35	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
36	TOEIC part5応用、語彙テスト、リスニングpart3対策	授業の復習と次回授業の予習					
37	TOEIC part5応用、語彙テスト、リスニングpart3対策	授業の復習と次回授業の予習					
38	TOEIC part5応用、語彙テスト、リスニングpart3対策	授業の復習と次回授業の予習					
39	TOEIC part6応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
40	TOEIC part6応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
41	TOEIC part7応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
42	TOEIC part7応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
43	TOEIC part7応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
44	模試①	模試の復習					
45	模試②	模試の復習					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				40%
	小テスト・出席率	◎	○		○		5%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	社会教養 I A						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	宮崎・平田・江口		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	クラス運営を行う中で必要な役割があることを学び、委員会活動を通して、「自ら考え、工夫をして行動する力」を養う。クラスメイトや担任といった身近な人の為に何が出来るのかを日頃から意識して行動できるように、どういった意識で生活すべきかを知る。また、後期に始まる就職活動準備に向けて、スケジュールや自己分析の仕方などを学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		各委員会の活動内容を理解し、担任の指示がなくても行動できる。	
	○			○		自身で目標を設定し、達成に向けた行動を心がけることができる。	
	○					東京研修事前課題において、グループ内で協力をして、分かりやすいプレゼンテーションをすることができる。	
	○			○		就職活動準備に向けて、自ら情報集を行い、希望職種についての理解を深める。	
			○			提出期限を遵守することができる。	
テキスト・教材 参考図書	特になし。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	クラス内オリエンテーション			特になし。		
	2	目標設定・クラス内委員会活動について			目標を考えてくること。		
	3	1・2年生交流会			先輩への質問事項を考えてくること。		
	4	東京研修について(事前課題への取り組み)			特になし。		
	5	就職活動準備について ①就職スケジュール、試験内容の確認			希望職種の試験スケジュールを調べてくること。		
	6	就職活動準備について ②自己分析			特になし。		
	7	東京研修事前課題発表会			各グループで発表準備を行うこと。		
	8	就職活動準備について ③自己PR、職種志望動機作成について			特になし。		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)前期中に3回作文を提出する。(2)グループワークを数回行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				○		80%
	作文提出状況				○		10%
	授業内での発言				○		10%
履修上の注意	出席が5回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)	General English I A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	野々村 賢一		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	英語の基礎となる品詞と5文型の理解を深め、様々な文法事項へ応用できる力を付ける。英語の成り立ちと英語が訳せない理由を把握することで、それを克服し、勤や、感覚に頼らず論理的に英文を訳せる力を身に付ける。また英文解釈にとどまらず、TOEICのPart5に活用できる力を付ける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				英語のルール、文の成り立ち、構造を理解し、正確に読む方法を身に付ける	
	○	○				文構造を把握し勤や感覚にたよらず論理的に英文を訳せるようになる。	
	○	○				文法問題やTOEIC Part5への活用ができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	クラス概要の説明、自己紹介、品詞重要な4大品詞			前回の授業の復習		
	2	品詞重要な4大品詞:名詞・動詞・形容詞・副詞の役割と練習問題			前回の授業の復習		
	3	4大品詞に次ぐ重要品詞:前置詞・接続詞と練習問題			前回の授業の復習		
	4	文の成り立ち②:文の要素と修飾語			前回の授業の復習		
	5	5文型:修飾語を取り除いた文の要素の語順			前回の授業の復習		
	6	5文型の練習問題			前回の授業の復習		
	7	なぜ5文型の把握が大切なのか①英語が複雑になる3大理由①修飾語			前回の授業の復習		
	8	3つの構成単位:語・句・節			前回の授業の復習		
	9	句と節の対処法:句・節の「範囲」を把握し、()でくくる			前回の授業の復習		
	10	なぜ5文型の把握が大切なのか?②			前回の授業の復習		
	11	句・節の「役割」を特定する			前回の授業の復習		
	12	なぜ5文型の把握が大切なのか③			前回の授業の復習		
	13	読解問題①			前回の授業の復習		
	14	読解問題②			前回の授業の復習		
15	読解問題③			前回の授業の復習			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) ポキャブラリーコンテストを実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				25%
	ポキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		25%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	15	担当者	江口 美奈子		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年生						
授業概要	文法基礎を理解し、英検・TOEICに活かす。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					基本文法を理解出来る	
		○				基本文法を理解して、問題を解くことが出来る	
		○				応用問題が理解できる	
		○				英検・TOEICの問題の中で、何の文法かを把握しながら解くことが出来る	
	○				学んだ文法を、相手に正確に教えることが出来る		
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	レベルチェックテスト					
	2	文型				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	3	時制(現在・過去・未来)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	4	時制(完了形)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5	受動態				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	6	助動詞				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	不定詞				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	8	分詞				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9	仮定法				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	10	比較				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11	関係代名詞				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	12	関係副詞				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13	接続詞				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	14	強調構文				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
15	復習テスト						
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) 検定を受験する。 (3) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				25%
	ホキヤノフリーコンテストの結果	◎	○		○		25%
履修上の注意							

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)	General English I A						
単位数	2	時間数	30時間	担当者	岡本 彩		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	英語検定合格、TOEICスコアアップ、会話力向上のための英語の基礎力(語彙力、文法力)を養成する。品詞確認と英作文、英文読解に取り組み英語の運用能力を高める。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				英語のルール、文の成り立ち、構造を理解し、正確に読む方法を身につける	
	○	○				単語、熟語の数を増やし、実際に使えるようにする	
	○	○				文法問題やTOEIC Part5への応用ができる	
テキスト・教材 参考図書	First Primer、TOEIC L&R TEST出る単特急金のフレーズ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション、英作文					
	2	be動詞、単語テスト			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
	3	一般動詞(現在)、単語テスト			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
	4	一般動詞(過去)、単語テスト			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
	5	進行形、単語テスト			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
	6	未来形、単語テスト			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
	7	助動詞、単語テスト			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
	8	名詞・冠詞、単語テスト			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
	9	代名詞、単語テスト			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
	10	前置詞、単語テスト			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
	11	形容詞・副詞、単語テスト			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
	12	比較			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
	13	命令文・感嘆文			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
	14	接続詞			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
	15	前期のまとめ			前回の復習を行って授業に臨むこと。		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)検定を受験する。(3)ボキャブラリーコンテストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				25%
	ボキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		25%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	英語でのコミュニケーション力をあげ、航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA: 600点以上、GS: 550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語力の土台となる基本5文型や品詞に対する理解を深める。英文読解力を高めるには句・節の理解が必要である為、不定詞や関係代名詞、分詞の復習を行う。TOEICの分野別アプローチの仕方についても学んでいく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○				各品詞の働きを理解し、TOEIC Part.5/6の問題で正しい選択肢を選ぶことができる。		
	○				TOEIC600点レベルの単語を覚え、品詞・意味を答えることができる。		
		○			基本5文型を理解し、英文を正しく解釈して意味をとることができる。		
		○			TOEIC Part.5/6に頻出の問題タイプを把握しておき、すぐに解法を判断できる。		
	○			TOEIC550点以上のスコアを取得できる。			
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:旺文社「とってもやさしい英文解釈」、アルク「TOEICに出る英文法出るとこだけ！」						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要、ボキャブラリーコンテストの説明、基本品詞の確認			英語辞書を準備しておくこと。		
	2	品詞①(4大品詞:名詞、動詞)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	3	品詞②(4大品詞:形容詞、副詞)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	4	品詞③(4大品詞+2 前置詞、接続詞)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	5	品詞のまとめ、TOEICでの活用法			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	6	基本5文型(文の要素と修飾語)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	7	基本5文型(文型の捉え方)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	8	基本5文型のまとめ、TOEICでの活用法			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	9	英文読解の基礎(語・句・節)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	10	不定詞の働き			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	11	関係代名詞の働き			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	12	分詞の働き			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	13	TOEIC問題演習①(Part5、6の品詞問題対策)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	14	第1回ボキャブラリーコンテスト、TOEIC問題演習②(Part5、6の文法問題対策)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
15	前期まとめ			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) ボキャブラリーコンテストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				25%
	ボキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		25%
履修上の注意	英語辞書、プリント用ファイルを準備しておくこと。						